

1 法人の概要

1) 沿革

昭和15年12月28日	財団法人村上学園設置認可
16年4月1日	布施高等女学校開校
22年4月1日	布施高等女学校附属中学校開校
23年4月1日	新制高校の発足により布施学院高等学校と改称
24年2月15日	布施女子高等学校、同中学校と改称
26年3月13日	財団法人村上学園は学校法人村上学園となる
28年4月22日	学校法人村上学園布施女子高等学校附属幼稚園開園
38年4月1日	学校法人村上学園柏原女子高等学校開校
39年1月25日	学校法人村上学園柏原高等学校と校名変更、男子部を併設
40年1月25日	布施女子短期大学（42年4月、東大阪短期大学と校名変更）家政科設置認可を得、開学
41年1月25日	布施女子短期大学保育科を増設
43年4月1日	家政科を家政学専攻と食物栄養学専攻に分離認可
44年4月1日	保育科を幼児教育学科に改称（47年3月廃止）
45年2月9日	児童教育学科設置認可を得、同年4月1日開設
45年4月1日	家政学専攻を服飾デザイン専攻に改称 柏原高等学校、女子部を廃止
48年4月1日	児童教育学科を初等教育学と幼児教育学に専攻分離
63年3月31日	東大阪中学校廃校認可を得、廃校
平成11年7月28日	児童教育学科の初等教育学専攻の募集停止届出
12年3月1日	家政学科に生活福祉専攻設置認可を得、同年4月1日開設
13年3月31日	児童教育学科の初等教育学専攻廃止届出
13年5月15日	校名変更認可、平成14年4月から東大阪高等学校を敬愛女子高等学校と改称
14年4月1日	児童教育学科を幼児教育学科に、服飾デザイン専攻を生活デザイン専攻に名称変更
14年12月19日	東大阪大学設置認可、平成15年4月1日開学 校名変更認可、平成15年4月から東大阪短期大学を東大阪大学短期大学部と改称
15年1月24日	校名変更認可、平成15年4月から東大阪短期大学附属幼稚園を東大阪大学附属幼稚園と改称
15年4月1日	東大阪大学こども学部こども学科開学
18年4月1日	敬愛女子高等学校を東大阪大学敬愛高等学校に名称変更 柏原高等学校を東大阪大学柏原高等学校に名称変更 東大阪大学短期大学部家政学科を健康福祉学科に、食物栄養学専攻を健康栄養専攻に名称変更 家政学科生活デザイン専攻を平成18年度より募集停止
19年3月31日	家政学科生活デザイン専攻廃止届出
22年3月31日	東大阪大学敬愛高等学校商業科廃止
22年4月1日	健康福祉学科を健康栄養学科に名称変更

健康栄養学科生活福祉専攻を平成22年度より募集停止

23年 3月31日 健康栄養学科生活福祉専攻廃止

23年 4月 1日 東大阪大学こども学部アジアこども学科開設

2) 設置する学校・学部・学科 (平成27年度)

- (1) 東大阪大学 こども学部 こども学科
アジアこども学科
- (2) 東大阪大学短期大学部 健康栄養学科
幼児教育学科
- (3) 東大阪大学敬愛高等学校 普通科 (全日制課程)
- (4) 東大阪大学柏原高等学校 普通科 (全日制課程)
- (5) 東大阪大学附属幼稚園

3) 当該学校・学部・学科の学生数 (平成27年5月1日現在)

学 校 名	学部・学科名	学生・生徒数
東大阪大学	こども学部	277
東大阪大学短期大学部	健康栄養学科	55
	幼児教育学科	145
東大阪大学敬愛高等学校	普通科	803
東大阪大学柏原高等学校	普通科	779
東大阪大学附属幼稚園		256
合計		2,315

4) 役員・教職員等の概要 (平成27年5月1日現在)

- (1) 役員 理事 7人
監事 2人
- (2) 評議員 15人
- (3) 教職員 347人

	教 員		職 員		合 計
	専任	非常勤	専任	非常勤	
法人部門	0	0	10	10	20
東大阪大学	26	29	16	8	79
東大阪大学短期大学部	26	23	16	6	71
東大阪大学敬愛高等学校	47	15	5	2	69
東大阪大学柏原高等学校	54	13	10	7	84
東大阪大学附属幼稚園	17	0	6	1	24
合 計	170	80	63	34	347

2 平成27年度事業計画における進捗状況等

1. 教科指導と基礎学力の向上

- (1) 授業力の向上とわかる授業、興味関心を引き出す授業の創造について教員間の研究のため、10月下旬から11月下旬までの間に、全教科の公開授業(8教科8名)を実施した。昨年度に比較して、参観する教員数は増加したように感じた。授業内容において生徒の主体的な活動を促す工夫、機器を使用する授業展開等、工夫している授業があったことは一つの成果であった。
- (2) 基礎学力の向上は本校生徒にとって重要な課題である。数学、英語、情報科の授業等で習熟度別授業、少人数指導、TTを導入し、きめの細かい授業の推進に努めた。また、放課後の補習、基礎力診断テストの分析、各種検定試験へのチャレンジなど工夫ある授業、取り組みを展開できた。
- (3) 平成26年度から実施の選択科目(学校設定科目)について、第2学年からの2年間で専門的なことが学べる4系列(調理、公務員、アニメ・イラスト、簿記)を設定するとともに前年度の講座の開設も行った。講師を専門学校や関連機関からの招聘や専門学校で学ぶ等、外部機関との連携を深めより専門的な学習を実施する事ができた。その結果、第2学年からまた、選択科目を土曜日にも実施し、単位数が2単位増加した。

実施にあたっては、平成28年度に8系列への統一や大学・専門学校等の連携協力先の増加、担当する教員の意識化や各科目の評価の仕方、指導要録への標記方法など様々な課題もある。
- (4) 授業公開期間の最終日(11月27日)、長らく途絶えていた授業参観を実施した。実施時期の関係もあり、参観者は14名と少なかった。保護者アンケートに実施時期を1学期に実施してほしいとの要望が記載されていたこともあり、次年度は早い段階での実施を検討している。

2. 生活指導の徹底と生徒支援・相談活動の充実

- (1) 中途退学、進路変更、不登校生徒の減少に向け、担任による家庭訪問を積極的にきめ細かく実施した。また、教育相談員、臨床心理士、NPO法人等を活用して、生徒相談室には月曜から金曜までの授業時間帯に常時在室を実現し、教育相談活動の充実に努めた。臨床心理士への相談は生徒14人(43件)、保護者4人(7件)、教員26人(47件)で不登校にかかわる相談が多くあった。

アシストコースの設置ともあいまって相談室の必要性はますます高まってきている。次年度から、「公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会」の記念事業終了とともに配置されなくなることから、臨床心理士配置の効果を勘案していただき学園の単費での配置をして頂けることになりました。
- (2) 凡事徹底をめざし、全教職員が同じ目線で生徒指導にあたることを常に確認し、効果を上げた。また、登下校のマナー向上、安全確保のため、通学路指導など校外指導を全教職員で実施し、問題行動の未然防止に努めた。地域からの苦情対応には、生活指導主任、副主任が中心となって迅速に対応した。一方で、教員間の共通理解の徹底や情報共有の視点から事例研修会等の必要性が課題である。
- (3) 時として生起する生徒の問題行動には毅然とした態度で接し、保護者への働きかけ等により理解を引き出し、協力して取り組むことができた。補導案件には、教育的配慮もふまえながら慎重に対処し、生徒の立ち直りの機会を奪うことがないよう配慮した。
- (4) 生徒指導対応上、必要に応じて補導センター、子ども家庭センターなど外部の専門機関との連携を図り、中途退学の防止に効果があった。
- (5) 生徒会活動については、生徒会新聞の発行や「毎朝のあいさつ運動」の取り組み等、自主的な取り組みが新しく実施したり継続して取り組まれる等活動が充実しつつある。柏高祭でも、生徒のやる気、自主性が見られる場面も増大している。

3. 進路指導の充実と進学実績の向上

- (1) 進学実績を高めるために、第2・3学年の総合的な学習の時間（進路研究）を活用し、進路指導の時間を定期的に設定した。放課後「進学ゼミ」の開講も実施し学力向上に努めた。
- (2) 就職率100%を維持するために、就職希望生徒の勤労観・職業観を育成する取り組みを数多く設定するとともに、大阪府から派遣されたキャリアコンサルタントを有効活用した。一方、縁故就職も含め複数名の就職先の未定者がおり課題となっている。
- (3) 昨年度に引き続き、公務員試験に1名合格者を出すことができた。（大阪府警）
- (4) 選択科目で各種資格を取得するための講座を開講し、「英検」「漢検」「数検」等の資格取得を推進した。
- (5) 進路指導もメンタル面のフォローが必要な生徒が増大してきており、生徒支援カード活用にあたっての共通理解とルール作りが急がれる。

《平成27年度進路状況》

就 職			進 学			そ の 他		* 主 な
学校就職	公務員	縁故自営	大 学	短期大学	専門学校	進学準備	その他	
55	1	33	123	3	45	14	1（留学）	

就職先 ⇒大阪府警、トヨタ自動車、トヨタカローラ南海、阪急電鉄、近畿日本鉄道、新日鐵住金、十川ゴム、ALSOK大阪、サカイ引越センター、社会福祉法人由寿会他

*主な進学先 ⇒青山学院大学、日本体育大学、関西学院大学、立命館大学、京都産業大学、摂南大学、追手門学院大学、東大阪大学、大阪学院大学、大阪芸術大学 他

4. 生徒募集のための広報活動の強化

- (1) 学校説明会等に例年を上回る参加があった。また、在校生徒の活躍の場を多く設定し、本校のイメージ改善につながるように努めた。アンケートを見る限り評判が良かったようである。平成28年度の入学者は268名で、前年度比38名増となったが、募集定員の360人には、はるかに及ばず分析を加え、次年度の広報活動に生かしていかなければならない。

《入学者状況》

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
252	254	283	315	330	230	268

- (2) 専願生239名中、キャリアアップが77名と少なく、募集定員を超える生徒の確保には、本コースの特色としての選択科目の系列化の推進や文化活動の教科による本校のイメージ改善による専願生の確保を目指したい。
- (3) 生徒募集の重要性を教職員に周知するために市内学習塾の塾長に研修会の講師を依頼し、「塾がすすめる学校とは……」と題し講演頂いた。教員の危機意識の共有につながったと感じる。引き続き、外部講師による研修会を実施していきたい。
- (3) 従来から実施している、学校での体験学習、出前授業、駅構内の掲示板の有効活用、地元行事への積極的参加等、渉外担当や関係教員並びに部活生の活動により地元住民、近隣中学校との連携が深まっている。今年度、地元柏原市教育委員会と連携協定を締結したが、具体的な連携協定の動きは次年度からになる。

5. 教職員の資質向上

- (1) 各教職員に目標管理シートを作成させ、管理職による個別面談を経て各実践課題に取り組みさせた。面談の中で、学校活性化に向けた熱意ある教職員の姿が多数浮き彫りになった。
- (2) 教職員の授業力向上のため、各教科会議等での教材研究、各教科1本の公開授業を実施するとともに授業公開期間を設け自由に授業の参観ができるようにした。工夫ある授業を展開している教員がいたことは、授業改善の良い材料になると期待したい。
- (3) 研修は、新任教員研修（年間随時）、生徒指導研修、私学人研への参加、保護者対応の研修会等、従来から実施しているものに加え、入試広報部、サポート部、外部研修会受講者による伝達研修、また、教員への小論文指導に関する研修会等を実施し、教職員の指導力アップ、資質向上に効果を上げた。

6. 各コースの取り組みから

(1) 特進（アドバンスト）コース

在籍生徒の学力向上、進学実績の向上に努めた。3年生では、なるべく指定校推薦に頼らず、一般試験やAO入試、留学生入試などへも挑戦させ、関西学院大学、立命館大学、摂南大学、大阪芸術大学等への合格を果たした。昨年に引き続き、留学生の進学実績が良く、全体の底上げにつながっている。1, 2年生でも夏季合宿や進学補習を企画し、学力の向上に努めた。

(2) 総合（キャリアアップ）コース

学習意欲の向上や自己肯定感の育成を求め、選択科目に4つの系列を創設し、2年間（11単位）を系列に関係する専門的な学習を、外部講師を含め専門の先生に指導いただけるよう進めた。調理やアニメ、簿記等、意欲的に学習する場面が見られた。簿記については簿記検定受験者もあり、3級合格者が出ている。次年度にむけ、系列の拡大と選択「キャリア」での基礎的学力の向上を課題としたい。

(3) 総合（キャリアアシスト）コース

本コース設置2年目、中学時代に不登校、または不登校気味であった生徒、コミュニケーションの苦手な生徒、いじめを受けていた生徒等が31名入学し、30人の定員がオーバーした。本校でもなかなかいじめず相変わらず不登校傾向から抜け出せない生徒もいたが、27名が進級した。中には、中学時代はほとんど学校に通えなかったが本校で精勤賞をとった生徒が現れるなど、全部で皆勤賞5名、精勤賞が12名であった。

また、成績優秀者に2名、優良者には3名選ばれる等、学習面でも輝いている。柏高祭での舞台発表や学校説明会でのボランティアとして参加する等積極性が随所に見られるようになった。

(4) 体育（スポーツ）コース

強化部及び準強化部に在籍する生徒のコースとして、文武両道、競技実績の向上を目指して連日連夜、ほとんど休みのない状況の中で活動を展開した。進学面では、今年度も青山学院大学や日本体育大学、近畿大学、京都産業大学等の有名大学に進学したのをはじめ、就職面でもトヨタ自動車（2名）や阪急電鉄、ALSOK大阪、新日鐵住金などの有名企業に多数の生徒が就職することができた。競技実績でもバドミントン部や日本拳法部が春の選抜で全国制覇を果たしたのをはじめ、空手道部、陸上競技部などもよい成績を残すことができた。

また、クラブを中心に本年度もボランティア活動を積極的に行った。特に、サッカー部、柔道部、空手道部、陸上競技部、日本拳法部等、校内清掃活動や地域啓発活動、地域行事への参加などが活発に実践された。

3 財務の概要

別添 平成27年度 資金収支計算書
事業活動収支計算書
貸借対照表
財産目録
監査報告書 参照